

平成25年2月4日
北九州市港湾空港局物流振興課

釜山港ミッションの派遣報告

官民が一体となって北九州港のポートセールスを行っている「北九州港航路集貨対策委員会」は、今年度の海外ポートセールス事業として、韓国・釜山港を1泊2日の日程で訪問するミッション団を派遣した。

今回のミッションでは、釜山新港地区のターミナルや物流倉庫、釜山北港地区などの視察を行うとともに、北九州港を利用している船会社などを対象とした「北九州港セミナー」を釜山市内のホテルで開催した。

記

1 ミッションの概要

- 1) 目的 北九州港と釜山港は、今年1月現在、24航路、月間136便のサービスで結ばれている。北九州港の重要な貿易相手港である釜山港の港湾関連の物流施設の視察と寄港船社などとの情報交換を目的に釜山港ミッションを計画した。
- 2) 団員 20名（民間企業11社14名、北九州市6名）
- 3) 日程 平成25年1月31日（木）～2月1日（金） 1泊2日

2 北九州港セミナー（釜山）の概要

北九州港に韓国航路を寄港させている船社への利用のお礼と情報交換の場として北九州港セミナーを釜山市で開催した。

当日は、在釜山日本総領事館の宮津智文領事や釜山港湾公社（BPA）の陳奎昊マーケティングチーム長が来賓として参加した。

- 1) 参加者 48名
 - ①船会社等（10社20名）
韓進海運、興亜海運、東進商船、天敬商船、高麗フェリー、長錦商船、パンスターライン、サンスターライン、キョンイルロジ、スターフライヤー釜山支店
 - ②官公庁等（5団体8名）
在釜山日本総領事館、釜山港湾公社、NNA韓国、韓国海運新聞、北九州市港湾空港局空港企画室
 - ③釜山港ミッション（12団体20名）

2) 内容

I部プレゼンテーション

- ①テーマ 「北九州港の紹介と最近のトピックスについて」

②内容

a) 北九州港の紹介

- ・アジアに近接した港、充実した物流基盤、豊富な定期コンテナ航路、歴史ある国内フェリー航路、全国第4位の取扱貨物量

b) 最近のトピックス

- ・若戸トンネルの開通、港湾に関わる国の動き、スターフライヤー釜山／北九州空港便、国際RORO航路就航の動き

③プレゼンター 北九州市港湾空港局物流企画担当課長 相良 明夫

Ⅱ部ビジネス交流会

ミッション団を代表して、日本通運株式会社門司海運支店次長の泉野泰良氏の乾杯の挨拶で交流会を開始した。

3 訪問先

1月31日（釜山新港地区）

- ① 釜山港広報館
- ② Pusan Newport International Terminal（PNIT／PSAと韓進が運営）
- ③ 多目的バース視察
- ④ Sebang Busan New Port Logistics

2月 1日

- ① ルノーサムスン自動車釜山工場
- ② 釜山港国際旅客ターミナル
- ③ 釜山北港地区（第7埠頭）

4 北九州港航路集貨対策委員会（会長 中崎 剛／港湾空港局長）

北九州港における航路誘致・集貨促進を目的に、官民が一体となってポートセールス活動を行うため、平成15年度に組織した。

| | |
|---|--|
|  |  |
| <p>① 釜山港広報館視察（釜山新港）</p> | <p>② 釜山新港ターミナル視察</p> |
|  |  |
| <p>③ 北九州港セミナー（プレゼンテーション）</p> | <p>④ 北九州港セミナー（ビジネス交流会）</p> |